

# 高等部の教育

～ 教育目標 ～

- 人間関係を豊かにする中で、自分の体を知り、体調調整し安定した生活を送る。
- 目標と意欲をもって学び、学んだ知識や経験を日常生活や社会で活かす力を付ける。
- 自分で考え、意思をもち、自立に向けて表現し、行動する。
- 社会参加への関心をもち、社会の一員として自分らしく生きる力を付ける。

学習の基礎となる基礎集団は各学級が基本となります。高等部では、卒業後の自立と社会参加に向けた指導を重点的に行なっていきます。卒業後の日常生活や社会生活は、様々な人々個性の違いをもった人たちとコミュニケーションを取り、自分で判断・行動したり、支援を受けたりすることになります。

各学級・学年における学習の中でつけた力をもとに、様々な学習グループの仲間たちと学校生活を送る中で、協調性のある人間性を養い、学級・学年の仲間としての意識を深め、ともに励まし合い、喜び合う雰囲気を作り、協力し合って学校生活を送ることを大切にしています。

学年としての指導を基本とした学習グループの編成により、個別の活動で培った力を学習グループや学年の中で活かし、人と関わる力を養うことができるような指導を行っていきます。

昨年度に引き続き、教員と学校介護職員・外部専門家が各職種の専門性を発揮し、チームアプローチで生徒の指導に当たります。

※給食は、各学年で食べます。

学習については、自立活動を主とする教育課程では、各学習グループにおける個別指導を中心に行ない、個別指導で付けた力を集団活動で発揮できるように単元や指導内容を工夫し、集団指導を午前単位1時間、午後単位1時間設定します。

知的代替課程では、生徒一人一人の個別の課題について、より効果的な指導を行うために2つの課題別学習グループ（④A、④Bの2グループ）で行い、共通の課題となる学習については、④A、④Bグループ合同での時間を設定します。

準ずる教育課程で学ぶ生徒については、生徒の主体的な行動や個々の進路を考慮した教室環境の整備と教科指導の充実を考慮した学習を進めるために、学校設定教科や選択教科を設定しています。